

淀川河川公園 鳥飼上地区 公園整備計画(案)

令和3年9月

近畿地方整備局 淀川河川事務所

■鳥飼上地区の現況

年間利用者数と主な公園施設	
年間利用者数 (令和元年)	年間利用者数 180,445人 野球場 28,397人 サッカー・ラグビー場 11,442人 テニスコート 3,915人 ローラースケート場 約500人 ※運動施設利用者は年間利用者数の内数
主な公園施設	野球場 3面 サッカー・ラグビー場(陸上トラック兼用) 1面 テニスコート 7面(うち3面使用停止中) ローラースケート場 1面 駐車場 323台、BBQエリア 管理所 1箇所、トイレ

各視点からの現況				
	ゾーニング計画の実現	魅力	快適性	つながりの改善
現況	<ul style="list-style-type: none"> 現在の供用区域は、ほとんどが「多目的利用ゾーン」内にあり、水際部の一部が「水辺環境保全・再生ゾーン」に含まれている。 「水辺環境保全・再生ゾーン」の一部の水際部には、河畔林が繁茂している箇所が存在している。 	<ul style="list-style-type: none"> 下流側に隣接する鳥飼下地区と併せて、広大な敷地に多数の運動施設がある。過去の洪水等により使用されていないテニスコートがある。 鳥飼仁和寺大橋が風景のアクセントとなっている。 バーベキューエリアが指定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場が下流側と上流側の2箇所に存在し、トイレ、手洗いが設置されている。 鳥飼サービスセンターに隣接しており、水洗トイレ、会議室、情報コーナー等のサービスを利用できる。 運動施設が多くを占めており、多目的に利用できる一般園地の面積が比較的少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 堤内地側には住宅地や商業地等の市街地が広がり、アクセス性がよい。 公共交通機関はバス路線があり、最寄りのバス停から徒歩5分程度である。 緊急用河川敷道路により上下流方向への移動が容易である。 下流側には鳥飼下地区が連続している。



■鳥飼上地区の整備方針

淀川河川公園の整備方針（基本計画）

（1）ゾーニング計画を新たに定める

- 基本計画における地区区分計画を改め、淀川の自然環境が縦断及び横断方向に連続するようなゾーニング計画を新たに定める

（2）淀川の自然環境の保全・再生を図る

- 自然環境の連続性に留意しながら、自然環境のネットワーク及び淀川の特徴ある水辺の景観を保全・再生する
- 干潟や砂州、ヨシ原、ワンド、たまり等の水陸移行帯や淀川固有の生物が生息・生育できる場を保全・再生する

（3）淀川らしい利用ができるようにする

①淀川の自然環境と利用との調和を図る

社会動向の変化、周辺の都市の状況、地域住民・利用者のニーズや意見を踏まえ、地区ごとの特性を考慮しながら淀川の自然環境との調和を図る

②淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

地区ごとの特性を活かし、水辺での水遊びや自然観察、原っぱでの遊びや運動、休憩、散歩など様々な形で淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

③淀川全体をつなぐ・まちと淀川をつなぐ

散策やジョギング、サイクリングなどが行えるよう、淀川全体をつなぐとともに、周辺地域と淀川にまつわる歴史・文化資源の散策・周遊等のルート設定や、広域避難地としての役割など、まちと淀川をつなぐ取り組みを行う

④淀川の水辺の景観を楽しめる場をつくる

水辺越しに見える都心部の眺望景観、北摂連山や天王山、男山、生駒山地などの山なみと一体的な景観との調和を図り、水辺の景観を楽しめる場をつくる

（4）淀川にまつわる歴史・文化資源を活かす

- 渡しや舟運、旧毛馬閘門・洗堰や川港跡、樋跡、三川合流部などの保存や展示、言い伝えを後世に伝えるなど、淀川にまつわる歴史・文化の資源を活かす

鳥飼上地区の特性

- ・摂津市の市街地から比較的アクセスしやすく、広大な空間となっている。
- ・堤内側には住宅地や商業地が集まっている。
- ・野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート等のスポーツ施設が充実しているが、一般園地の占める割合が比較的少ない。また、過去の洪水等により使用されていないテニスコートがある。
- ・会議室、水洗トイレ等のサービス施設がある鳥飼サービスセンターに隣接している。
- ・下流側に隣接する鳥飼下地区には船着場がある。



鳥飼上地区の整備方針

◇淀川ならではの空間特性を活かした、さらに利活用が図られるよう、施設構成の見直しを行います

- ①利用頻度の少ない運動施設や、災害等により利用停止となっている運動施設を、より多くの人々が利用しやすくなるように再整備します。
- ②市街地からアクセスしやすい特性を活かし、イベント利用時の利便性が高まるよう、臨時の駐車スペースを確保します。

◇人々が淀川の河川景観にふれあい、気軽に多目的なレクリエーションを楽しめる場を提供します

- ①地域や周辺の人々が集まり、気軽に運動やピクニック、バーベキューなどを楽しめ、淀川の水辺の景観にふれることができるレクリエーションの場を提供します。
- ②運動施設の見直しにより、自然体験、健康づくり、多彩な運動、BBQ、各種イベントなど、利用者の創意工夫で多目的に利用できる広場づくりを進めます。

◇淀川全体やまちとつなぐ結節点を確保します

- ①鳥飼サービスセンターと一体的な活用を行うことで、まちと川のつながりが高まるように努めます

■鳥飼上地区の整備内容

3. 案内サイン等の設置

(つながりの改善)

- ・河川公園と鳥飼サービスセンターの相互利用を促進するための、サイン等の情報発信ツールの設置

2. テニスコートの臨時駐車場への転換

(快適性の向上)

- ・老朽化により利用されていないテニスコートの撤去、臨時駐車場としても利用できる広場を整備

1. 使用していない運動施設の新たな多目的用途施設への転換

(魅力の向上) (自然環境への配慮)

- ・使用していないテニスコートと老朽化したローラースケート場について、多目的利用が可能な芝生広場の整備を行う。
- ・老朽化したローラースケート場については、近年の多様なローラースポーツのニーズにも考慮したうえで、施設規模を縮小した再整備を行う。



※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載している。
 ※地域協議会での議論、治水・環境の視点からの技術的検討、予算状況等により変更となることがある。

- 凡例
- 魅力の向上に関する内容
 - 快適性の向上に関する内容
 - つながりの改善に関する内容
 - 遊歩道
 - 周辺地区からのアクセス
 - 水辺自然環境保全・再生ゾーン
 - 多目的利用ゾーン

■鳥飼上地区の整備内容

	整備項目	該当項目	現状・課題・ニーズ	概要
1	使用していない運動施設の新たな多目的用途施設への転換	【魅力の向上】 【自然環境への配慮】	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの一部が、過去の洪水による被害や老朽化のため利用出来ない。 ・鳥飼上地区には、利用者が自由に使える多目的に利用可能な芝生広場がない。 ・ローラースケート場の舗装やコース設備が老朽化し、危険なために利用停止となっている部分がある。 ・最近ではローラースケートだけでなく、スケートボードなど多様なローラースポーツニーズが高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災・老朽化により利用されていないテニスコートやローラースケート場を見直すことで、より多目的な利用ができる空間を整備する。 ・利用されていないテニスコートは撤去する。 ・ローラースケート場については、施設規模を縮小しつつ、より多様なローラースポーツニーズを考慮し、河川区域内で実施可能な再整備を行う。 ・自由に使える多目的に利用可能な芝生広場を整備する。
2	テニスコートの臨時駐車場への転換	【快適性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの一部が老朽化して利用停止になっている。 ・大規模なイベントを開催する場合は、現在の公園内の駐車場が満車になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用停止となっているテニスコートの一部を撤去し、臨時駐車場としても利用できる広場を整備する。
3	案内サイン等の設置	【つながりの改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・後背地に市街地が隣接しているにも関わらず、イベント開催時以外の日常的な公園利用は盛んとはいえず、隣接する鳥飼サービスセンターを活用した、まちと川とのつながりの改善が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川公園と鳥飼サービスセンターの相互利用を促進するための、案内サイン等の情報発信ツールを、公園の駐車場付近と鳥飼サービスセンターに設置する。

※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載しています。
 ※地域協議会での議論、治水・環境の視点からの技術的検討、予算状況等により変更となる場合があります。